

平成22年度収支予算書(正味財産増減計算ベース)

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	915	915	0	
基本財産受取利息	915	915	0	120,285 × 0.761% (国債運用)
② 受取会費	0	2,100	△ 2,100	
賛助会費	0	2,100	△ 2,100	
③ 事業収益	63,016,117	75,991,798	△ 12,975,681	
再商品化受託料収益	50,550,467	56,567,222	△ 6,016,755	実施委託料内訳
(特定事業者・実施委託料)				① ガラスびん 2,188,027
				② PETボトル 1,054,750
				③ 紙容器 569,940
				④ プラスチック容器 46,737,750
再商品化受託料収益	9,589,570	9,428,090	161,480	拠出委託料内訳
(特定事業者・拠出委託料)				① ガラスびん 0
				② PETボトル 155,320
				③ 紙容器 30,330
				④ プラスチック容器 9,403,920
再商品化受託料収益	1,193,080	2,149,340	△ 956,260	市町村負担分の申込金額
(市町村)				
再商品化委託収益	1,683,000	7,847,146	△ 6,164,146	有償入札拠出分内訳
(有償入札分)				① ガラスびん 3,000 (3,000t)
				② PETボトル 1,680,000 (168,000t)
				( )内は有償分の市町村からの引取見込量
経常収益計	63,017,032	75,994,813	△ 12,977,781	
(2) 経常費用				
① 事業費				
再商品化委託事業	62,556,767	75,556,026	△ 12,999,259	
(主な内訳)				
ガラスびん再商品化委託料	2,174,300	2,152,000	22,300	342,000t (前年度 340,000t)
PETボトル再商品化委託料	840,000	141,900	698,100	42,000t (前年度 2,580t)
紙再商品化委託料	160,000	41,610	118,390	32,000t (前年度 30,000t)
プラスチック再商品化委託料	45,913,000	54,452,100	△ 8,539,100	706,496t (前年度 717,060t)
				数字は市町村からの引取見込量
				ただしガラス、PETは逆有償分の引取見込量
役員報酬	73,680	78,840	△ 5,160	通勤手当含む
給与手当	141,560	137,214	4,346	通勤手当含む
設備等調査費	336,530	330,000	6,530	
旅費交通費	23,700	25,000	△ 1,300	
コンピュータ処理料	383,300	383,300	0	
再商品化業務システム改善費	56,000	50,000	6,000	
商工会議所等委託費・研修費	184,000	184,000	0	
申込書等印刷費・通信費	95,000	95,000	0	
賃借料	49,400	49,400	0	
租税公課	855,320	446,200	409,120	
市町村拠出支出(合理化拠出金)	9,589,570	9,428,090	161,480	
市町村拠出支出(有償入札拠出金)	1,602,857	7,473,472	△ 5,870,615	① ガラスびん 2,857
				② PETボトル 1,600,000
普及及び啓発	40,300	26,500	13,800	
業務内容に関する説明会等の開催	20,300	11,500	8,800	会議費 11,000 旅費交通費 1,600
				官報・広告掲載 7,000
パンフレット等の作成及び配布	20,000	15,000	5,000	「リサイクルのゆくえ」啓発ツール
				作成 10,000 既存パンフ増刷 6,000
				3R推進連絡会協力金(AC対応)3,000
情報の収集及び提供	54,500	66,100	△ 11,600	
会報の発行等	54,500	66,100	△ 11,600	会報発行(4回) 30,000 HP運用18,000
				環境関連イベント出展費 6,000
交流及び協力	1,880	4,380	△ 2,500	
国内外関係機関との交流及び協力	1,880	4,380	△ 2,500	
事業費計	62,653,447	75,653,006	△ 12,999,559	

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増減	
②管理費				
役員報酬	28,320	21,960	6,360	通勤手当含む
給与手当	77,320	83,684	△ 6,364	通勤手当含む
福利厚生費	36,100	37,358	△ 1,258	法定福利費他
退職給付費用	20,030	20,390	△ 360	
旅費交通費	1,000	1,200	△ 200	
会議費	2,000	2,400	△ 400	理事会・評議員会開催費
什器備品費	500	500	0	
減価償却費	2,400	0	2,400	
消耗品費	2,800	3,200	△ 400	
修繕費	800	1,000	△ 200	
印刷製本費	6,000	5,500	500	
通信運搬費	3,500	3,500	0	
租税公課	200	200	0	
光熱水費	1,200	1,200	0	
賃借料	32,200	31,000	1,200	
渉外費	800	800	0	
諸謝金	9,200	7,200	2,000	弁護士・公認会計士等への謝金
会費	300	300	0	
図書購入費	1,500	1,500	0	
倉庫保管料	3,000	3,000	0	
その他雑費等	6,500	6,000	500	室内清掃、銀行振込関連手数料等
管理費計	235,670	231,892	3,778	
經常費用計	62,889,117	75,884,898	△ 12,995,781	
当期經常増減額	127,915	109,915	18,000	
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
經常外収益計	0	0	0	
(2) 經常外費用				
予備費	127,915	109,915	18,000	
經常外費用計	127,915	109,915	18,000	
当期經常外増減額	-127,915	-109,915	-18,000	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	63,530	62,889	641	
一般正味財産期末残高	63,530	62,889	641	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	120,285	120,285	0	
指定正味財産期末残高	120,285	120,285	0	
III 正味財産期末残高	183,815	183,174	641	

(注)1. 収支予算書(正味財産増減計算ベース)は平成22年度から「公益法人会計基準の運用指針」(平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

2. 短期借入金限度額 5,000,000千円

3. 債務負担額 0円

4. 平成21年度収支予算書は正味財産増減計算ベースに組み替えて作成したもの。

